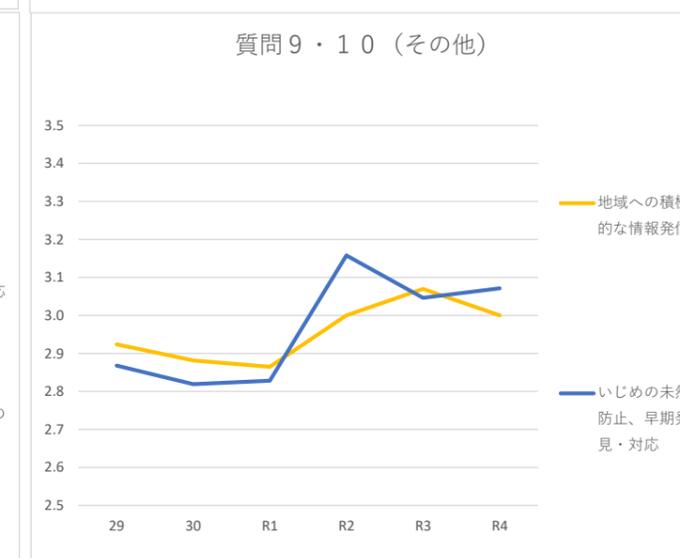
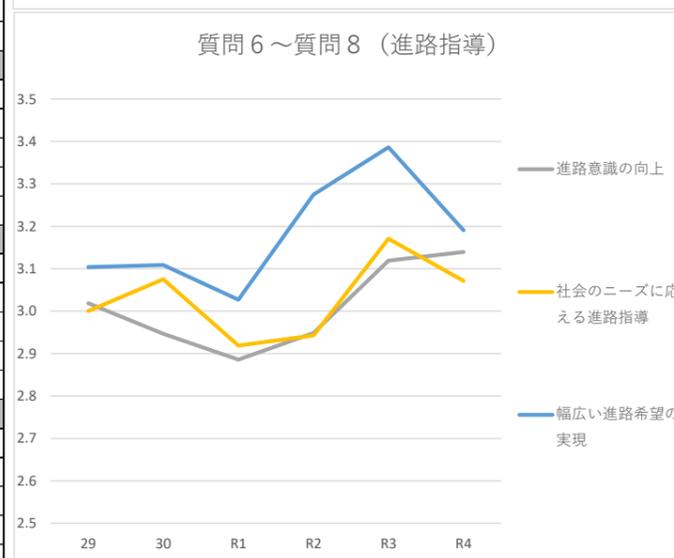
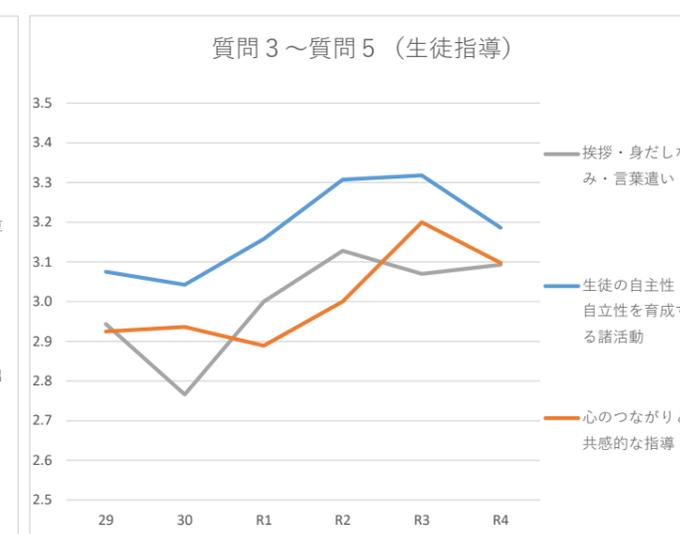
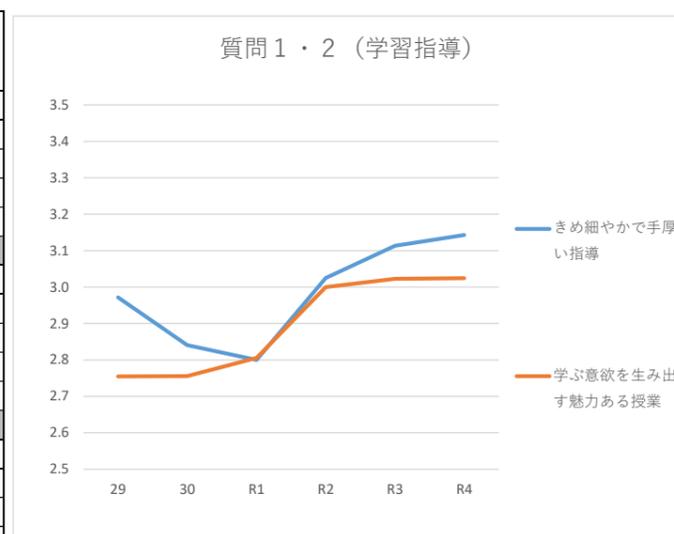


令和4年度 学校評価アンケート結果（保護者） 回収率 54.4 % (R2 33.6% R3 46.0%)		年度	満足	概ね満足	やや不満足	不満足	平均	
1 ○きめ細やかで手厚い指導 お子様一人一人に適した成長をうながす、きめ細やかで手厚い指導が進められていると思いますか？	R4	31%	55%	12%	2%	3.1	→	
	R3	24%	67%	7%	2%	3.1	↗	
	R2	29%	49%	20%	2%	3.0	↗	
	R1	14%	62%	19%	5%	2.8	→	
	30	12%	64%	21%	3%	2.8	→	
2 ○学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業 お子様の学ぶ意欲を喚起し、魅力ある授業が行われていると思いますか？	R4	17%	68%	15%	0%	3.0	→	
	R3	16%	73%	11%	0%	3.0	→	
	R2	21%	62%	18%	0%	3.0	↗	
	R1	13%	61%	24%	3%	2.8	→	
	30	9%	61%	29%	2%	2.8	→	
3 ○挨拶・身だしなみ・言葉遣い 校内外における標準高校生の「基本的生活習慣（挨拶・身だしなみ・言葉遣い等）」はできていると思いますか？	R4	21%	67%	12%	0%	3.1	→	
	R3	18%	75%	5%	2%	3.1	→	
	R2	28%	63%	8%	3%	3.1	↗	
	R1	20%	63%	15%	3%	3.0	↗	
	30	12%	62%	18%	9%	2.8	↘	
4 ○生徒の自主性・自立性を育成する諸活動 様々な学校行事や部活動・ボランティア活動などとしてお子様の自主性や自立性が育成されていると思いますか？	R4	21%	77%	2%	0%	3.2	↘	
	R3	33%	64%	2%	0%	3.3	→	
	R2	40%	55%	3%	3%	3.3	↗	
	R1	25%	70%	5%	0%	3.2	↗	
	30	22%	62%	14%	2%	3.0	↘	
5 ○心のつながりと共感的な指導 お子様の「基本的生活習慣」の確立や「自主性・自立性」の育成は、お子様との心のつながりや共感的な指導により進められていると思いますか？	R4	34%	46%	15%	5%	3.1	↘	
	R3	30%	63%	4%	2%	3.2	↗	
	R2	25%	53%	23%	0%	3.0	↗	
	R1	16%	63%	18%	3%	2.9	→	
	30	12%	72%	14%	2%	2.9	→	
6 ○進路意識の向上 進路ガイダンス・個人面談等々として、お子様の進路に対する意識が高まったり、取組が進んでいると思いますか？	R4	40%	40%	16%	5%	3.1	→	
	R3	30%	53%	16%	0%	3.1	↗	
	R2	25%	53%	18%	5%	2.9	→	
	R1	16%	57%	27%	0%	2.9	→	
	30	20%	56%	21%	2%	2.9	↘	
7 ○社会のニーズに応える進路指導 （企業訪問・インターンシップなど）として本校の進路指導は社会のニーズに応える人材育成を図る指導となっていると思いますか？	R4	19%	71%	7%	2%	3.1	↘	
	R3	21%	74%	5%	0%	3.2	↗	
	R2	19%	58%	19%	3%	2.9	→	
	R1	13%	67%	21%	0%	2.9	↘	
	30	23%	61%	14%	1%	3.1	↗	
8 ○幅広い進路希望の実現 本校の進学講習・資格取得の取組・個別指導・模試の実施等は、お子様の進路希望の実現にとって効果的なものであると思いますか？	R4	31%	57%	12%	0%	3.2	↘	
	R3	40%	60%	0%	0%	3.4	↗	
	R2	44%	44%	10%	2%	3.3	↗	
	R1	28%	51%	21%	0%	3.0	↘	
	30	30%	49%	19%	0%	3.1	→	
9 ○地域への積極的な情報発信 保護者の皆様に学級通信や学年通信、ホームページ、授業公開等々として本校の教育活動がわかりやすく伝わっていますか？	R4	23%	58%	14%	5%	3.0	↘	
	R3	18%	73%	9%	0%	3.1	↗	
	R2	33%	40%	25%	3%	3.0	↗	
	R1	15%	59%	23%	3%	2.9	→	
	30	14%	63%	19%	3%	2.9	→	
10 ○“いじめ”の未然防止、早期発見・対応 “いじめ”の未然防止や早期発見など、お子様が安心して学校生活を送れる雰囲気 に本校はなっていると思いますか？	R4	24%	62%	12%	2%	3.1	↗	
	R3	18%	73%	7%	2%	3.0	↘	
	R2	33%	54%	10%	3%	3.2	↗	
	R1	14%	65%	16%	5%	2.8	→	
	30	16%	57%	19%	7%	2.8	↘	
29	14%	63%	18%	5%	2.9	↘		



分析

ほとんどの項目が横ばいか微減であり、全体的には高評価の傾向が続いている。
3年単位で比較すると、全ての項目が低評価（平成29年～令和元年）から高評価（令和2年～令和4年）に転じている。